

2017年1月14日(土)13:30-17:30 / 明治学院大学白金キャンパス本館2階(地上階)1255教室

21世紀の豊かさ

経済を変え、真の民主主義を創るために

2016年秋にコモンズから刊行された『21世紀の豊かさ 経済を変え、真の民主主義を創るために』。本書では、ラテンアメリカ、ヨーロッパ、北米、日本の12名の社会学者が、現代資本主義と民主主義の諸問題を洗い出し、21世紀型の豊かさへの移行(トランジション)をめぐる多角的な議論を展開しています。

本シンポジウムでは、日本人著者4名から、それぞれの寄稿論文を中心に本書の内容を紹介してもらいます。さらにラウンドテーブルでは、二人のコメンテーターとともに発展的な問題提起を行います。

【プログラム】

13:00-13:30: 開場 & 受付	15:30-15:45: 休憩
13:30-14:00: インタロダクション	15:45-17:15: 第2部: ラウンドテーブル
14:00-15:30: 第1部: 報告	17:15-17:30: まとめ & 閉会のあいさつ

報告者 & 報告タイトル

- 広井良典…「脱成長の福祉国家」は可能か—ポスト資本主義とコミュニティ経済
- 吉原直樹…コミュニティの社会学から社会史へ
- 千葉 眞…民主政治の試練の時代—民主主義の再生のために
- 中野佳裕…〈南型知〉としての地域主義—コモンズ論と共通感覚論が会う場所で

コメンテーター: 幡谷則子、嶋原敦子 / 司会: 中野佳裕、大江正章

主催: 出版社コモンズ、NPO法人アジア太平洋資料センター(PARC)

後援: 明治学院大学国際平和研究所(PRIME)

資料代: 700円 * 明学関係者(学生・教職員)は無料

事前申し込み: 不要 / お問い合わせは、PARC事務局まで:

(TEL.03-5209-3455 / e-mail: office@parc-jp.org)

〈コモンズ創業20周年記念出版〉

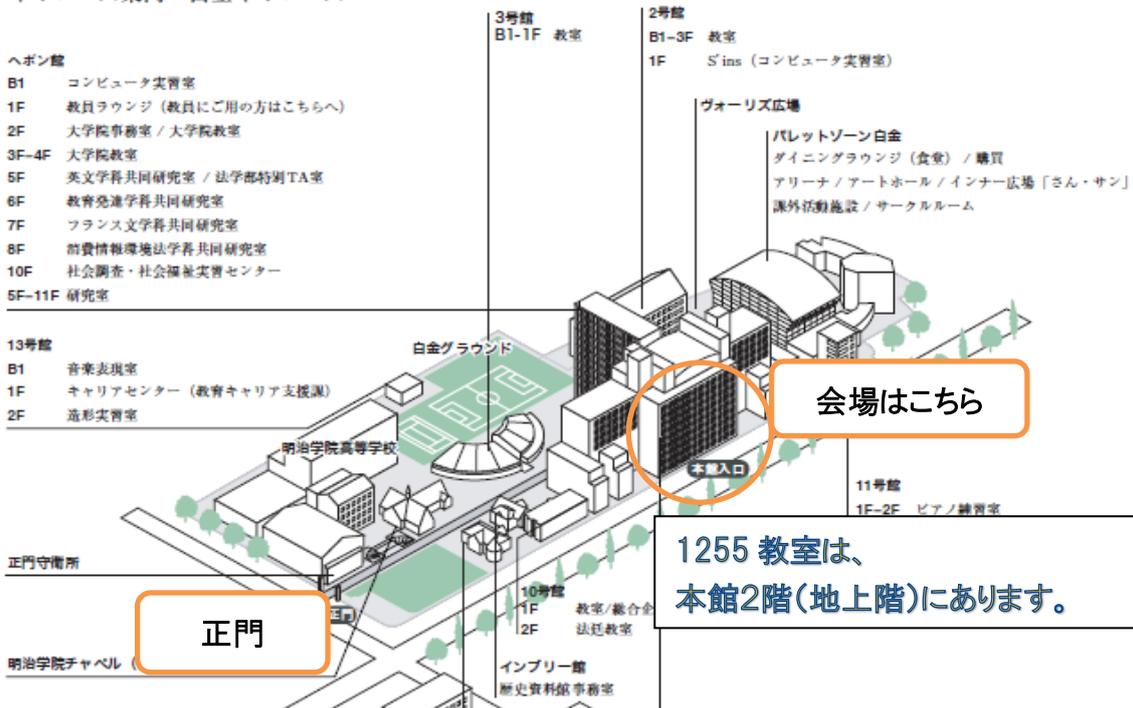
“ラテンアメリカ、ヨーロッパ、米国で政治の右傾化が始まっている現在、左派の再生と共＝コモンズの再創造は最重要課題です。本書が示唆するように、左派政治とコモンズは、地球とリンクした多元的かつ開かれた草の根の活動を通じて再生されねばなりません。”(2016. 11.16)

——アルトゥロ・エスコバル(ノースカロライナ大学人類学教授)



【会場へのアクセス】

キャンパス案内：白金キャンパス



シンポジウム会場：明治学院大学白金キャンパス本館 2 階(地上階)1255 教室

【最寄駅からのアクセス】

JR品川駅から目黒駅行きの都営バス[品93]に乗り約 6 分、明治学院前で下車。

JR目黒駅から大井競馬場前行きの都営バス[品93]に乗り約 6 分、明治学院前で下車。

東京メトロ南北線／都営地下鉄三田線・白金台駅 2 番出口より徒歩約 7 分。

東京メトロ南北線／都営地下鉄三田線・白金高輪駅 1 番出口より徒歩 7 分。

都営地下鉄浅草線・高輪台駅A2出口より徒歩 7 分。

【登壇者プロフィール】

中野佳裕(なかの よしひろ):国際基督教大学社会科学研究所非常勤助手、明治学院大学国際平和研究所研究員。専門は社会哲学、開発学、平和研究。『21 世紀の豊かさ』制作において中心的役割を果たす。詳細はウェブ研究室 (<http://postcapitalism.jp/index/>)まで。

広井良典(ひろい よしのり):京都大学こころの未来研究センター教授。専門は公共政策、科学哲学、社会保障。主著に『コミュニティを問いなおす』、『ポスト資本主義』など。

吉原直樹(よしはら なおき):大妻女子大学社会情報学部教授・東北大学名誉教授。専門は都市社会学。主著に『コミュニティ・スタディーズ』、『「原発さまの町」からの脱却』など。

千葉 眞(ちば しん):国際基督教大学教養学部特任教授。専門は政治思想史、政治理論、平和研究。主著に『「未完の革命」としての平和憲法』、『連邦主義とコスモポリタニズム』など。

幡谷則子(はたや のりこ):上智大学外国語学部イスパニア語学科教授。専門はラテンアメリカ地域研究。編著に『小さな民のグローバル学』など。

嶋原敦子(しぎはら あつこ):日本平和学会理事、環境・平和研究会共同代表、国立仙台高専非常勤講師。共著に『環境平和学』など。

大江正章(おおえ ただあき):出版社コモンズ代表。NPO 法人アジア太平洋資料センター(PARC)共同代表。主著に『地域に希望あり』、『地域の力』など。